

「くらし安全 チェックリスト」

(□にチェックしてみてください)

○振り込め詐欺対策

- 家族だけで通用する合言葉を決めている。(言えない場合は切る約束)
- 電話で「お金」の話が出た時は、振り込め詐欺の疑いがあることを知っている。
- 「電話番号が変わった」と知らせてきたら、以前の番号に確認することが必要だと知っている。
- 身に覚えのない請求(架空請求)については、連絡をとらず無視することが対策と知っている。
- 行政機関が還付金の名目でATMの操作を指示することはないと知っている。
- 正規の貸金業者や金融機関が融資を前提に現金を振り込ませることはないと知っている。

○子ども防犯対策(家族でチェックしてみましょう。)

- 外出時には、必ず「誰と」「どこで」「何をするのか」「何時に帰るのか」を言うようにさせている
- できる限り一人で遊ばないように指導している。
- 危険な目に遭いそうになったときは「助けて!」と大声を出す指導をしている。
- 家族で「子ども110番の家」や、犯罪に巻き込まれやすい危険な場所を確認している。
- 危険な目にあったら家の人に伝えられるよう日頃のコミュニケーションを大切にしている。

○侵入盗対策

- 戸締りを徹底している。
- 玄関や窓に補助錠を付けている。
- 玄関や勝手口のカギは防犯性の高いものを付けている。
- センサー付ライトや窓用警戒ブザーなどの防犯機器を設置している。
- 建物の周りに侵入の足場となりそうなものを置いていない。
- 窓ガラスは強化ガラスにしている、若しくはフィルムを貼っている。
- ご近所とのあいさつ、声かけをしている。



○ひったくり対策

- バッグ等は車道と反対側に持っている。
- 遠回りでもできる限り明るく広い道を利用している。自転車の前かごには防犯ネットを付けている。
- 後方から近づいてくるオートバイ等には注意を払っている。
- 歩きながらの携帯メールやイヤホン等で音楽を聴くことは周囲の状況がわかりづらく危険なので止めている。
- 貴重品はコンパクトにまとめ身につけている。



○車上ねらい・自動車盗難対策

- 車から離れるときは、僅かな時間であっても必ず窓を完全に閉めてキーを抜き、ロックをしている。
- イモビライザー等の盗難防止装置を活用している。
- 自宅駐車場や車庫には防犯灯や防犯カメラを設置している。
- 車内にバッグや現金、貴重品を置きっぱなしにしない。



○自転車・オートバイ盗難対策

- 自転車には複数の鍵をかけている。
- オートバイを止めるときは、キーを抜き、ハンドルロックをかけている。
- 路上等に放置せず、管理人のいる駐輪場等、決められた場所に止めている。
- 防犯登録をしている。
- 自宅敷地内でも鍵をかけて停めている。



すべての項目にチェックできた人でも油断は禁物です。
犯罪の手口は、日々巧妙化しています。
防犯意識を常にもち、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進しましょう。